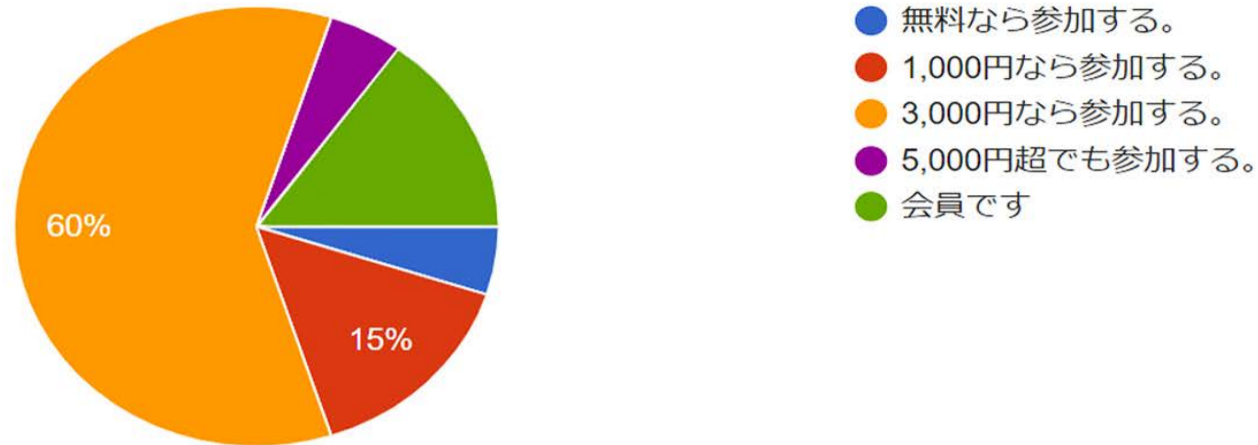


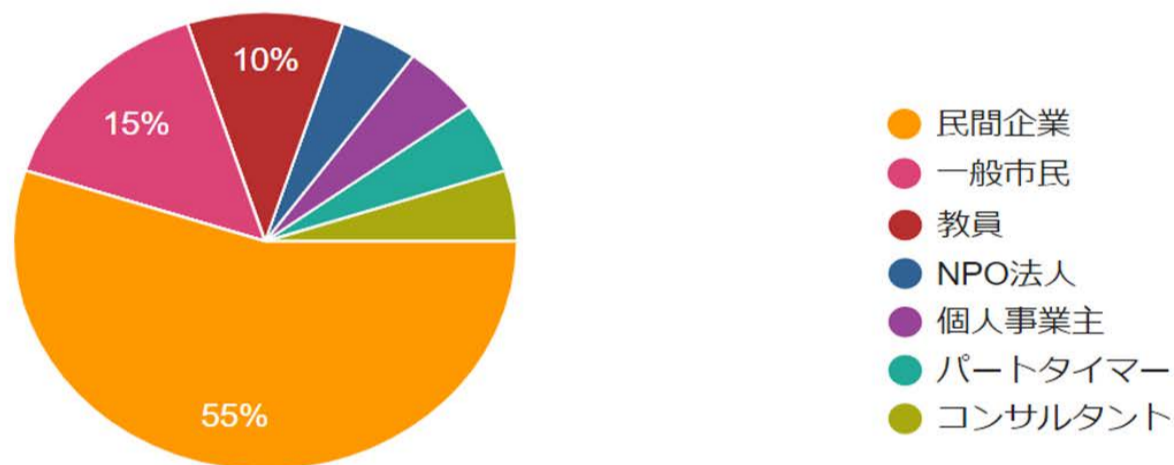
今回のフォーラムの参加費（NPOへの賛助）についてどう思われますか？

20件の回答



ご職業についてお答えください。

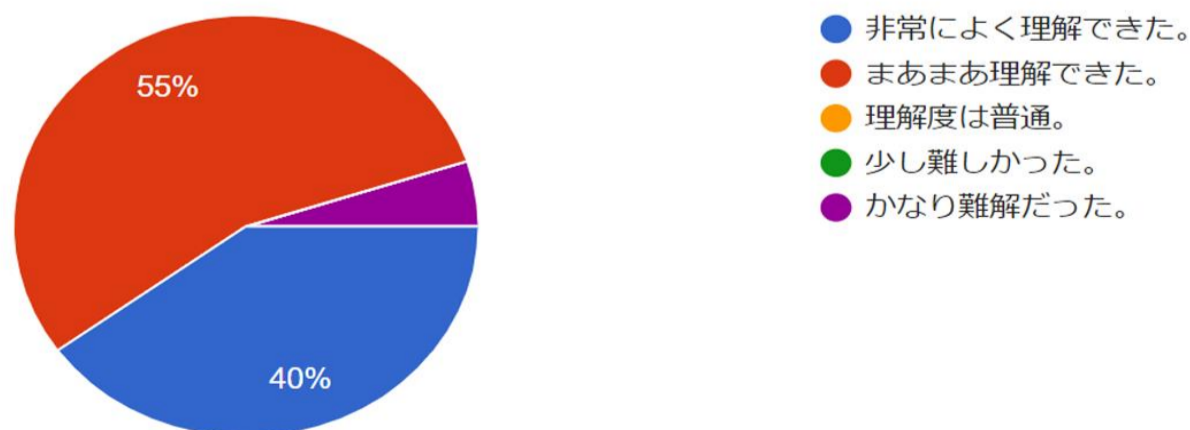
20件の回答



① 宗林さおり(国民生活センター) 『錠剤・カプセル状健康食品の品質等と健康被害について』

ご講演内容の理解度についてご回答ください：① 宗林さおり（国民生活センター）『錠剤・カプセル状健康食品の品質等と健康被害について』

20件の回答



途中数回ダウンしたため講演を聞き取れなかった

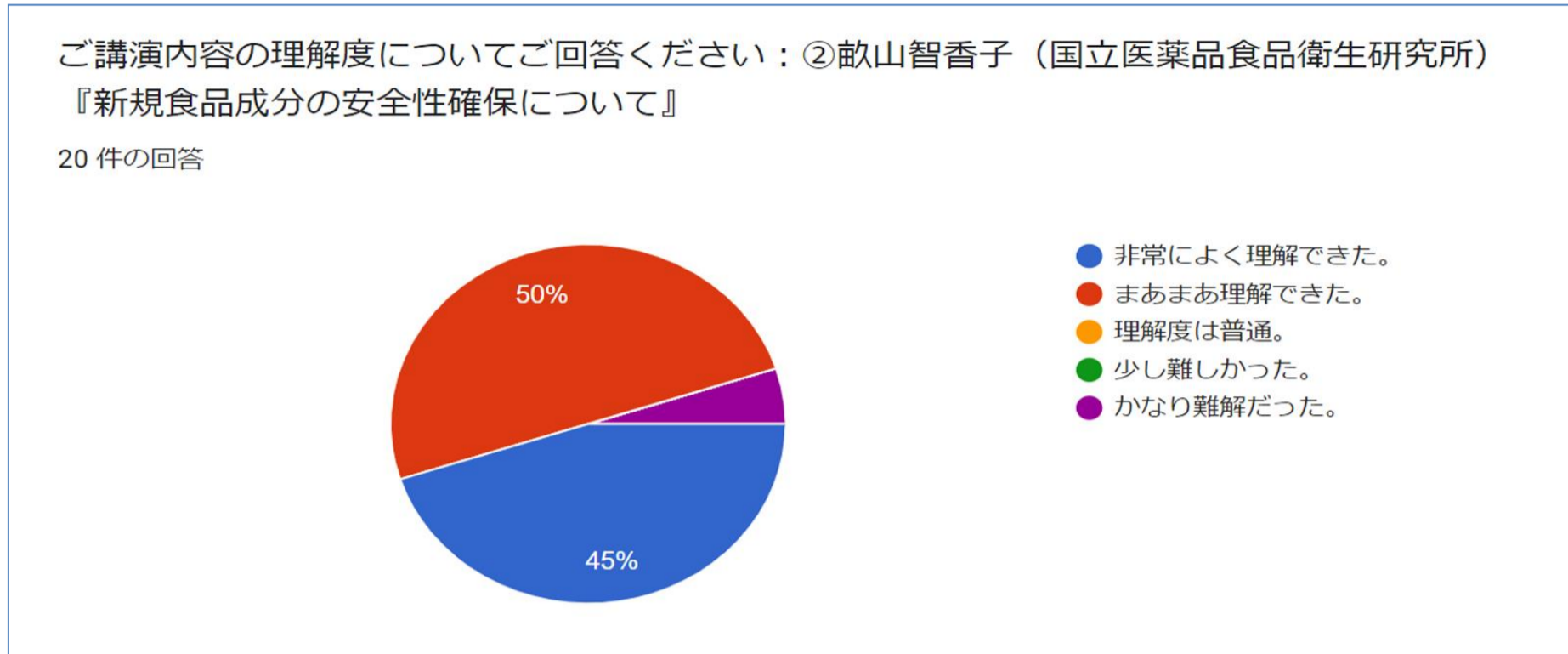
国センの最新情報が聞けよかった。

機能性をうたった商品が、成分の量が効果の期待できない量であったり、別な効能の製品があることを初めて知りました。錠剤やカプセルなど、溶けやすさが思った以上にないことに驚きです。

「売られているものは安全」と捉える学生がいるので、注意を促したいと改めて強く感じました。

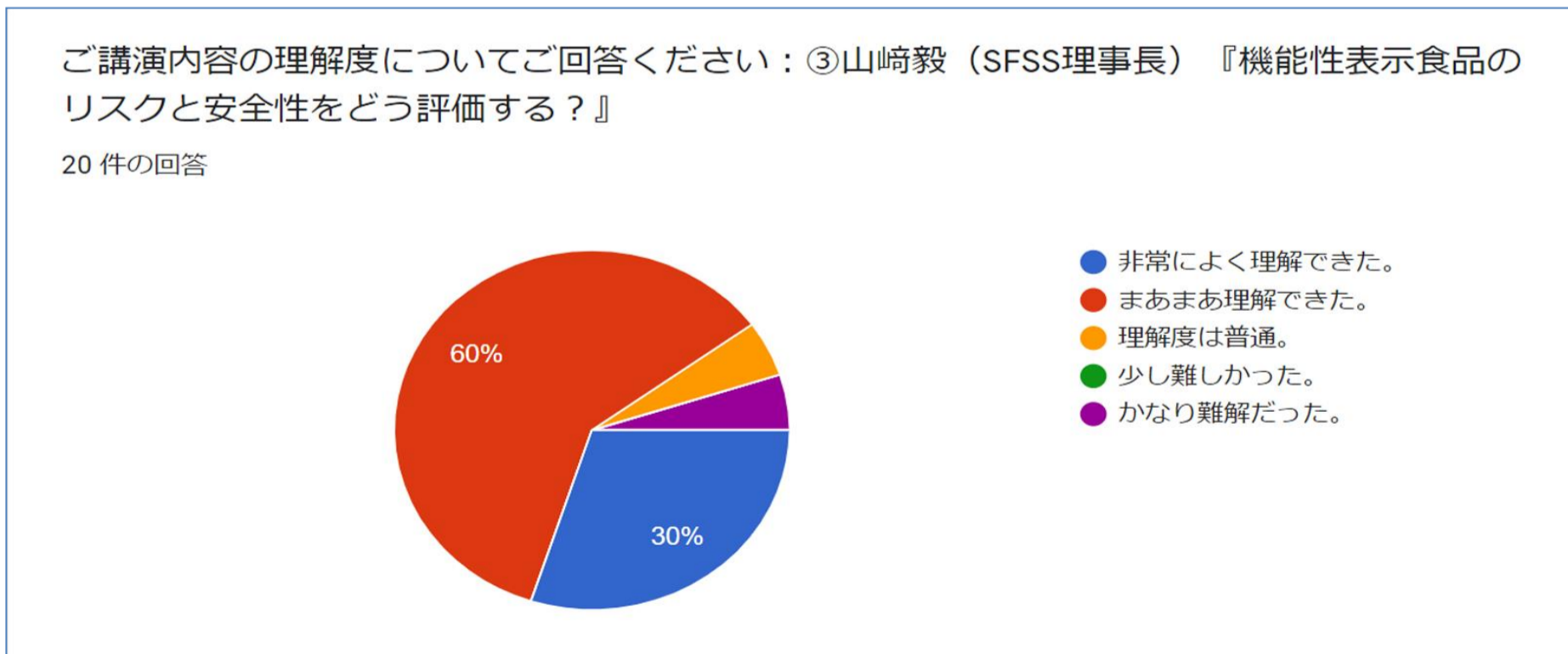
信頼できるサントリーの青汁を飲用していますが、講演で健康食品の実態を知り改めて健康食品への認識を深めました
国民生活センターの立ち位置の説明がもう少しあると分かり易かったかも。
機能性表示食品という名称があっても、消費者からはこれまでの健康食品との違いが見いだせていないのではと感じました。
国民生活センターが様々な検証活動も行っていることがわかりました。また、9/3に報告されるとして投影していただいた2019年度の危害情報のまとめは、9/3に早速読ませていただき、社内でも共有させてもらおうと思います。
健康食品に関するPIO-NETの状況などがよくわかり、よかったです。
当日に使用されたスライド資料は入手できますか

② 畝山智香子(国立医薬品食品衛生研究所) 『新規食品成分の安全性確保について』



内容的には何回か聞いたことのある話だが再確認した
食品の安全性に関する基本的な考え方を聞いて良かった。
食品は安全ではなく未知の成分の集合体なのですね。『海外のセレブが～』『〇国で長年食べられた～』など、スーパーフードが美容やダイエットが注目されますが、日本人の体質に合わない未知の成分も含まれているということに気をつけなければいけませんね。
ご著書を読むだけより、お話を伺うとよく理解できたので、講演を拝聴できて良かったです。
食品のリスクについてのイメージ表現図は大変インパクトがありました。「食品添加物はなぜ嫌われるのか」を購入してリテラシー向上に役立ちました感謝。
食とは何かという俯瞰がとても重要であることを学びました。ありがとうございました。
健康食品というと医薬品と似ているようなイメージでしたが、医薬品とは全く扱いが違うということを認識し、選択にあたっては自分自身しか頼れないので注意したいと思いました。また、機会があれば周囲の人たちにも伝えていきたいと思いました。
食品のリスク、健康食品のリスクのイメージについて、食品リスク研究者と一般人との違いが参考になりました。

③ 山崎 毅(SFSS理事長) 『機能性表示食品のリスクと安全性をどう評価する？』



途中ダウンし聞き取れない箇所があった。少々話が飛躍する箇所も見られた
機能性表示食品の届出資料について、もう少し切り込んでいただき良かった。
『栄養と料理 8月号』で拝読させていただきました。数年前の健康診断で高血圧と診断された際、薬を服用するより、食品で改善したほうが健康的と思い、機能性をうたった健康食品(黒酢など)を飲んでいた時期がありました。効果が出るまで同じ食品を毎日とり続けることは、どんなに好きなものでも苦痛になりますね。機能性表示食品など、効能をよく理解して、上手に利用したいと思います。

食の安全に関して勉強会に出席するような人たちは「安心より安全が第1」と理解・共感しますが、そうでない人には「安心も大切」と強く訴える人もいて、そういう人にどう説明するかが難しいです。

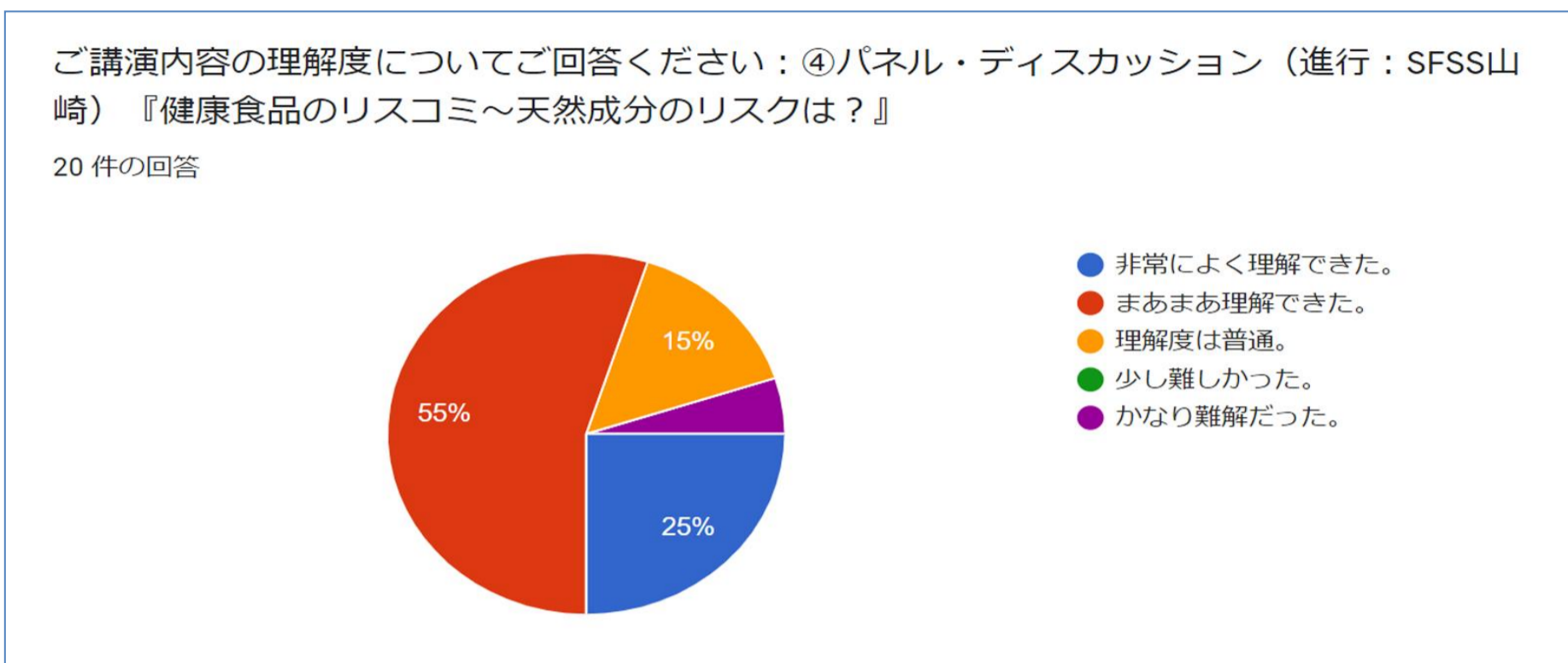
山崎先生のほとばしる熱意を感じました、通販の健康食品愛好家の家内(食品添加物は私のリスコミで気にしていません)へのリスコミに励みます。

(海外も含め)魑魅魍魎の世界、実態把握(利害関係)がたいへんですね。

色々なイメージのご説明がわかり易かったです

トクホの安全性担保の考え方と機能性表示食品の安全性担保の考え方が基本的に違う、単純に並列できないところがポイントと感じました。

パネルディスカッション『健康食品のリスコミ～天然成分のリスクは？～』 進行:山崎 毅(SFSS)、パネラー:各講師



興味あったがダウンのため全部は聞けなかった。時間が遅くなるので全部は聞けない

主題のテーマについてディスカッションをしてほしかった。

他の人が、どうしているかを知りたい機会となり、自分の視野が広がり、助かります。

この世界は、まだまだ理解のベースが同じでなく、それらを明らかにしながら進行するのは難しそうですね。

全体としてとても参考になりました。事前にお送りした私のコメントを取り上げていただきありがとうございます。トクホと機能性表示食品の安全性担保の基本的な違いを一般に伝えることは大切だと思います。機能性表示食品の安全性はいわば事業者の自己申告によっている以上、流通後に、とくに新成分に関する有害事象を収集し、分析して広報することが必要だと思います。一般食品でも新成分に関するサーベイランスは必要です。食安委と消費者事故調は、それぞれの制度上、流通食品の安全性・有害性に関与することができるはずなので、必要なときはぜひ協力して実績を重ねてほしいなと思っています。ドイツのBfRは、主務省庁を異にする関係機関と連携して流通食品のリスク評価やリスコミを進めた経験があり参考になるのでは？と思った次第です。ほかの議論も興味深く、おもしろかったです。

◆今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。

フォーラム最後に私の事前質問を取り上げてくださりありがとうございます。宗林様のお話にあった、特別の注意を必要とする指定成分を含む食品について、事業者から行政への健康被害情報届出の、情報収集の枠組みと方法の明示、収集情報の周知と公開、被害情報の指定成分との関係の確認などの枠組みが明確でなく、8月初めに厚労省担当課長に尋ね近日中公表のお答えだったので、実際にどのように進んでいるか確かめたく思いました。ほぼフォーラム終了時間で他の用事に移行していたのですが、すぐミュートを解除しましたが、もう司会の話に移っており間に合わず残念でした

主題のテーマについてディスカッションをしてほしかった。

いわゆる健康食品が機能性表示食品に衣替えしたイメージがある。

音声がとぎれとぎれで聞き取りにくいところがあった。

演者の方以外は、カメラオフのほうが聞きやすいように感じました。

テーマにあった「天然成分のリスクは？」の部分がもう少し広がればという気は思案した。具体的には、消費者の多くは天然成分(〇〇エキス)のほうが安全安心だという意識が強く、化学物質で表してあるものは危険という意識が強いです。そのあたりのリスコミについてももう少し掘り下げてよかったと思います。

講演によるそれぞれの視点からの問題提起と、それを受けたパネルディスカッションの構成が良かったと思います

健康食品のリスコミ議論は製品そのものの議論にならざるを得ないので難しさを感じました

「医薬品と違うので、健康食品は安全ではない」という考えがベースにあり、その組み立ての発表が多かったのが気になります。許認可でない、含有量や規格が一律でない、利用に際して医療機関が介在しない食品である以上、医薬品と同じレベルの安全性確保や利用者保護(基金など)は実現困難だと思います。「医薬品と違って」をベースにして話す際には、何と何がトレードオフなのか、をまず認識を一致させるべきと感じました。

消費者にとって、とても重要なテーマですが、もっと総論(法の理念や考え方等)に言及するとより分かり易いかもしれませんね(だからと言って今後の解決の何かに繋がるのは期待薄ですが)。

パネルディスカッションでも話題になっていましたが、食品のリスクに対する正しい理解の普及とリスクコミュニケーションが課題だと感じました。

はじめて参加させていただきましてありがとうございました。いろいろ教えていただき参考になりました。

◆今後、食の安全・安心・リスクに係る分野で、どのようなテーマのフォーラムを希望されますか？。

ジビエ、昆虫食

食品のリスクと自主回収

食品ロス問題を希望します。

食品表示基準(アレルゲン、原料原産地、遺伝子組換え、食品添加物等)大きく改正されてきているが 消費者にとってわかりやすいか、有意義か どう伝えるべきか

法律違反や指摘の効果、受けた会社や人のその後(興味本位ですが、悪意のある人はどの程度いるのか、その方々を改めさせるには)。
有機食品について知りたいです。日本ではあまり根付かないようですが、欧米での位置づけや農産物に限らず、畜産に関してもその生産物の安全性という視点で見たときの有機食品の優位性があるのかどうか。先生方の視点でどのような見解になるのかお聞きしたいです。持続可能といわれていますが、環境影響についても科学的視点でお願いいたします。
食品に配合する新成分にかかわる有害事象のリスク評価・リスコミのあり方について取り上げていただければとおもいます。医薬品や化粧品に配合する新成分のリスク評価のあり方との相互比較があれば幅広い議論ができて有用かと思えます。

◆健康食品に関するリスクコミュニケーションのあり方について、どうあるべきでしょうか？。

消費者の誤解を防ぐために健康食品という言い方はやめてサプリメントを意味する健康補助食品とすべきである
しっかりとした法制化をすることが大事と思われる。特にサプリメントについては、法制度を作るべきと考える。今のようなあいまいな状態では、消費者もわかりにくいし、情報提供する側も伝えにくいと思う。
いい加減なマスコミ情報をどう駆除するか、永遠の課題だと思いますが
健康食品の過剰な広告宣伝に惑わされて、健康食品のリスクが軽んじられている。まずは、健康食品の過剰な宣伝を取り締まること。次に得に健康食品の錠剤カプセルについては食品の安全性確保についてのルールを設けること。
昨日も話に出ていましたが「日本の「成人の科学的リテラシーの低さ」は下記URLにある通り壊滅的です。何とかそうした点を改善していかないと、何が本当に正しい情報か知らない人の方が多いです。近所のスーパーでも「添加物などアレルギー物質も極限まで減らしています」というアナウンスが流れています、何年も。こういう事業者も自分の首を絞めるだけなのでしっかりとしてほしいし、消費者庁はこうした業者に指導をしていくべきかと思えます。 https://core.ac.uk/download/pdf/236663395.pdf
アドバイザースタッフの周知・活用が広がることも必要。学校教育で、食生活に関してよく学べる時間数の確保も必要。それを教える先生方の再教育(特に、畝山先生のお話の内容)も必要。それらが大事と分かる行政官や政治家も必要。
健康危害情報をいかに汲み取るかがやはり重要だと考えます
メディア(テレビ・新聞・雑誌・ダイレクトメール等)で膨大な露出のある健康食品のリスコミは難しいです、製造者・販売者への生産管理(原料・製造・保管等)指導・監督の強化が必要(GNP等)。食品ではなく準薬品と考えるべき
食全般の一部として、中学校等での義務教育にすべきかと思えます。
健康食品を好んで利用する人の多くは、医薬品よりも優れていると信じていたり、食品だから副作用の心配が無いと思っている方が多い傾向にあると思えます。それは、化学合成されたものよりも天然由来の成分や自然を好む傾向にあると思うのですが、それは宗教に近いもののように、理解いただくのは難しいと感じています。お互いに歩み寄りながらコミュニケーションの場を作るしかないのでしょうか。
機能性表示食品の制度は表示をメインにつくられていますが、今後は健康食品に関するリスク評価の仕方をもっと議論して、そこから表示のあり方にフィードバックしたり、リスコミのあり方を考えていくとよいようにおもいます。健康食品のリスク評価をさらに整えるには、有害事象のケーススタディを積んで方法論の精度と柔軟性を上げることが役立つのでは?と思えます。リスコミは、トピックによっては10代など若い世代の質問や苦情を集めて対応する試みがあってもよいかと思えます。

◆今回のオンライン・フォーラムについて、ご要望や改善すべき点がありましたら、ご意見をお書きください。

オンラインにするなら、もつと時間を短くすべきと考える。一方向の配信が3時間続くと、聞き手はしんどい。
通信状況が悪そうだった
オンラインである以上、トラブルは不可避ですのでご心配なきようお願いいたします。(オンラインで開催することの意義は大きいと思えます。)
不安定で音声は最初から雑音のみ映像もすぐフリーズ チャットでその旨伝えようとしたがそれもかなわず よって 内容についてはコメントできず申し訳ない。このアンケートも内容の理解度を記入しないとアウトなので難解ととりあえず回答しています。
やっぱり5時間長いです。
今回は、いつもと比べ、特にシステム障害が多過ぎた(私も3回強制退出させられました。再起動をかけないと戻れず、時間がかかりました)。Google Meet ビデオ会議は技術的に今一つのような…。他のオンライン会議(TeamsやZoom)ではこのような状況に滅多に遭遇しません。
通信トラブルはありましたが、復旧も速く、ストレスはありませんでした
オンライン特有のトラブルもあつたりはしますが、個人的には遠隔地からの参加が容易になりますので、これからもこのような形で開催いただけると嬉しいです。
特にありませんが、配信するスタジオ内はもう少し人と人の間隔があいていてもよいかなと思いました。全体にはとてもよかったです。

◆備考(SFSS事務局へのご要望・通信欄)

途中でのダウン対策を周知してほしい
ますますのご発展を。
ありがとうございました。
オンラインであれば、1000円程度なら参加するという意味です。もしも、対面式ならもう少し高い参加費でも、演者が聴きたい方なら、参加します。お疲れ様でした。この講演会等を作ってくださったことに、感謝申し上げます。
いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします
回線環境の改善をお願いします
有難うございました。また参加させていただきます。
いつもありがとうございます。
進行だけでなく、オンラインでの運営も重なり大変だと思いますが、おかげで参加できているので、とても嬉しいです。ありがとうございます。
いつも楽しく、そして大変勉強になっております。今後ともよろしくお願ひいたします。
有益なフォーラムを開催して頂き、ありがとうございました。講師の方々にお礼申し上げます。